

## 学校関係者評価報告書

自己点検報告書に基づき、学校関係者評価委員会において、次のとおり評価した。

(評価委員)

米川委員 (関大北陽高校) 上山委員 (大阪高等学校) 酒井委員 (さかい鍼灸院・卒業生)  
三澤委員 (副校長・柔整学科長) 左海委員 (教員養成学科長) 福田委員 (鍼灸学科長)  
井上委員 (教務部長) 藤井委員 (事務局長) 森委員 (総務部主査)

(評価区分)

5 極めて適切に行われている      4 適切に行われている      3 普通  
2 適切にややかける                  1 適切でない                  NA あてはまらない

評価項目		評 価
基準 1 教育理念・目的・育成人材像等		
1-1	理念・目的・育成人材像は定められているか	学則を含め、学科毎のアドミッション・ポリシー、カリキュラムポリシー、ディプロマ・ポリシーに基づき定められている。 4
1-2	学校の特色はなにか	卒業生との連携、就職率、独自教育カリキュラム、臨床実習、国家試験の合格率向上にむけた個別指導、Wライセンスサポート制度を特色とする。 3
1-3	学校の将来構想を抱いているか	入学者が減少しており、具体的な将来構想の検討が必要である。 3
基準 2 学校運営		
2-4	運営方針は定められているか	役員会を通じ、明確に定められている。 4
2-5	事業計画は定められているか	役員会を通じ、明確に定められている。 ただし、事業計画で計画されている年度目標数値に到達していないことから、問題点を改善する必要がある。 3
2-6	運営組織や意思決定機能は、効率的なものになっているか	学院組織及び運営規則に基づき、明確に実施されている。 4
2-7	人事や賃金での処遇に関する制度は整備されているか	各個人の目標管理に基づき、人事評価に取り組んでいる。しかしながら、学校に対する貢献度、職務の遂行度や業績、能力などを一定の基準で査定する処遇整備の検討が必要である。 3

2-8	意思決定システムは確立されているか	規程に基づき、意思決定システムは確立されている。	3
2-9	情報システム化等による業務の効率化が図られているか	各人がコンピューターを所有しており、LAN構築により、情報の共有、業務の迅速化、効率化が図られている。	3
<b>基準3 教育活動</b>			
3-10	各学科の教育目標、育成人材像は、その学科に対応する業界の人材ニーズに向けて正しく方向付けられているか	教育課程の変更に伴い、業界の人材ニーズにあわせた学科毎の教育目標、育成人材像が定められている。	3
3-11	各学科の教育目標、育成人材像を構成する知識、技術、人間性等は、業界の人材ニーズレベルに照らして、また学科の教育期間を勘案して、到達することが可能なレベルとして、明確に定められているか	3年間の段階的教育により、外部施設での実習を通じ、業界の人材ニーズレベルにあわせた知識、技術、人間性の修得にむけて、取り組んでいる。	3
3-12	カリキュラムは体系的に編成されているか	カリキュラムは、社会のニーズに基づき検討を行い、体系的に編成されている。	3
3-13	学科の各科目は、カリキュラムの中で適正な位置づけをされているか	科目間の連続性を意識し、積み上げ方式とするカリキュラムが構築されている。	3
3-14	授業評価の実施・評価体制はあるか	専任教員の授業科目において、授業評価アンケートを実施している。非常勤講師担当科目においても、対応することが望ましい。また、教員間評価の実施も期待する。	3
3-15	育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	養成施設規則に基づいた教員の確保ができており、FD研修会の実施や専門分野における研修会等への参加により、教員の資質の向上に努めている。	3
3-16	成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	学則に基づき、明確に定められている。	5
3-17	資格取得の指導体制はあるか	定期的な模擬試験を実施し、成績不良者の弱点を分析し、個別指導を行う支援体制がなされている。	3
<b>基準4 教育成果</b>			
4-18	就職率(卒業者就職率・求職者就職率・専門就職率)の向上が図られているか	定期的な就職説明会、就職相談会を実施し、就職に対する意識の改善に努め、就職率の向上に取り組んでいる。	3
4-19	資格取得率の向上が図られているか	昨年度に比較し、鍼灸学科、柔整学科共、約95%の合格率となり、向上が図られている。	4
4-20	退学率の低減が図られているか	出席・成績状況等の把握に努め、クラスアドバイザー、科目担当者、教務課で連携し、早期対応に取り組んでいる。	3

4-21	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	卒業後の動向について、一部の対象者ではなく各々の情報の把握に努めなければならない。	3
基準5 学生支援			
5-22	就職・進学指導に関する体制は整備され、有効に機能しているか	相談・指導体制は整備されているが、学生自身の就職に対する意識が低く、改革が必要である。	3
5-23	学生相談に関する体制は整備され、有効に機能しているか	学生課を中心にクラスアドバイザーと連携し、学生相談・指導体制に取り組む体制ができている。	3
5-24	学生の経済的側面に対する支援が全体的に整備され、有効に機能しているか	奨学金制度が周知徹底され、逐次、相談に対応できている。	4
5-25	学生の健康管理を担う組織体制があり、有効に機能しているか	附属治療所を開設しており、専任教員による健康管理体制は整備されている。また、大学附属のクリニックの開設により、医師及び看護師が常時、配置されている。ただし、夜間学生への対応も今後検討すべきである。	3
5-26	課外活動に対する支援体制は整備され、有効に機能しているか	規程等で整備されている。	3
5-27	学生寮等、学生の生活環境への支援は行われているか	学生寮はなく、信頼のおける賃貸業者を紹介し、対応している。校舎内には食堂を有しており、食に対する支援が行われている。	3
5-28	保護者と適切に連携しているか	高校新卒者の入学生に対し、オリエンテーション時に保護者説明会を実施。また、出席状況、成績等を保護者に通知し、情報を共有、連携した指導に努めている。	3
5-29	卒業生への支援体制はあるか	同窓会組織が整備され、毎年、卒後研修会等が定期的に計画されている。	4
基準6 教育環境			
6-30	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	委託業者により、施設等は適切に管理されており、修繕が必要な設備等については早期対応が実施されている。	4
6-31	学外実習、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	教育課程の変更に伴い、外部施設での実習を導入しており、老健施設、スポーツ施設、医療機関等との連携を行い、臨床教育の整備に努めている。	3
6-32	防災に対する体制は整備されているか	規程等は整備されている。定期的な防災訓練の実施が必要である。	3
基準7 学生の募集と受け入れ			
7-33	学生募集活動は、適正に行われているか	予算計画に基づき、適正な学生募集活動は実施	3

		されている。	
7-34	学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	教育成果を国家試験合格率として、公表されている。	4
7-35	入学選考は、適正かつ公平な基準に基づき行われているか	入試管理会議を経て、適切かつ公正に実施されている	4
7-36	学納金は妥当なものとなっているか	学納金について、教育負荷率を考慮し、1単位あたりの授業料を算出しており、妥当なもの判断している。	4
<b>基準 8 財務</b>			
8-37	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	帰属収支差額が赤字となっている年度が続いており、安定した財政基盤を期待する。	3
8-38	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	予算、収支計画は役員会を通じ、有効かつ妥当なもので計画されている。	3
8-39	財務について会計監査が適正におこなわれているか	財務について、学院として会計監査が適正に行われ、公表されている。	4
8-40	財務情報公開の体制整備はできているか	学院として財務情報が公開されている。	4
<b>基準 9 法令等の遵守</b>			
9-41	法令、設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	法令等を遵守し、適正な運営がなされている。	4
9-42	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	規程を設けて、対応している。	3
9-43	自己点検・自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	授業評価アンケート及び卒業生見込者に対する学校評価アンケート等により、自己点検を実施している。アンケート結果に基づいた個々の問題点を把握し、学校全体として改善に取り組む必要がある。	3
9-44	自己点検・自己評価結果の公開はしているか	適正に公開されている。	4
<b>基準 10 社会貢献</b>			
10-45	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行っているか	教員の派遣、施設の開放に取り組んでいる。また、「吹田ボランティアフェスティバル」等に参加、市民公開講座、通学路の定期的な清掃活動等を実施し、地域貢献に取り組んでいる。 吹田市及び大阪市と「津波災害又は水害時における緊急一時避難施設としての使用に関する協定」の締結が行われ、施設の活用に取り組んでいる。	3